

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成29年(2017)8月10日

No.116

発行 高津啓洋

環境改善と植樹セミナー

真夏の8月5日、川崎市高津区の大山街道ふるさと館で、南北米福地開発協会と共催で70人が集い、一日セミナーが行われました。

高津啓洋理事長が「パンタナールの自然と温暖化問題」を中心に講義しました。また、多くの方から、植樹活動の実践をしたいと要望があり、まずは種拾い、ドングリ拾いから始めようと。8月11日山の日に、浜離宮恩賜公園でタブの実の採取から始めることとなりました。



高津理事長は講義の中で、自然防災林と東北大震災にも触れ、植樹の重要性が待ったなしであることを訴えました。

また当会が進めているパラグアイで展開されている大規模な植樹活動の様子が、パワーポイントで伝えられました。また国内での支部活動の展開で、湘南支部の奥平支部長の報告がありました。



パラグアイでの植樹活動支援

7月末に、青年市民団体が当会の支援を受けて、イタ市と共に植樹をしました。その報告をしてお

きます。(佐野)
主催*パラグアイ青年連合とイタ市(湿地帯を救う青年の会)
援助*地球を守る緑の会、他パラグアイ国内のNGOなど。特に当会は、400本の地元の木の苗を植樹用に提供しました。

写真左上、地元女性指導者と。右上、イタ市長と。左下、植樹された木と。右下、400本の苗木。



[お知らせ] 8月22日パラグアイへ出発の植樹ボランティア日本隊に支援をお願い致します。

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成29年(2017)8月10日

No.116

発行 高津啓洋

環境改善と植樹セミナー

真夏の8月5日、川崎市高津区の大山街道ふるさと館で、南北米福地開発協会と共催で70人が集い、一日セミナーが行われました。

高津啓洋理事長が「パンタナールの自然と温暖化問題」を中心に講義しました。また、多くの方から、植樹活動の実践をしたいと要望があり、まずは種拾い、ドングリ拾いから始めようと。8月11日山の日に、浜離宮恩賜公園でタブの実の採取から始めることとなりました。



高津理事長は講義の中で、自然防災林と東北大震災にも触れ、植樹の重要性が待ったなしであることを訴えました。

また当会が進めているパラグアイで展開されている大規模な植樹活動の様子が、パワーポイントで伝えられました。また国内での支部活動の展開で、湘南支部の奥平支部長の報告がありました。



パラグアイでの植樹活動支援

7月末に、青年市民団体が当会の支援を受けて、イタ市と共に植樹をしました。その報告をしてお

きます。(佐野)

主催*パラグアイ青年連合とイタ市(湿地帯を救う青年の会)

援助*地球を守る緑の会、他パラグアイ国内のNGOなど。特に当会は、400本の地元の木の苗を植樹用に提供しました。

写真左上、地元女性指導者と。右上、イタ市長と。左下、植樹された木と。右下、400本の苗木。



[お知らせ] 8月22日パラグアイへ出発の植樹ボランティア日本隊に支援をお願い致します。